



AIガバナンス協会、企業の自主的な取組成果を踏まえた 政策パッケージの提言を公表

～政策的な措置が必要な7つの論点を整理し、自民党ホワイトペーパーにも反映～

企業と社会が安心してAIを活用し、持続可能な成長を遂げるために、多様なプレイヤーがAIガバナンスのあり方を議論できる場を創るべく設立したAIガバナンス協会(以下「AIGA」)は、2024年4月10日(木)、政府与党等での政策検討のご参考として、今後AIガバナンスの社会実装に求められる政策パッケージを取りまとめ、提言として公表しました。

企業の取組を推進していくにあたり、政策との連携が不可欠

<各領域について、官民連携して進めていくべき取組>



【提言の全文】

公表した政策提言資料の全文は以下の URL からご覧いただけます(PDF ファイルが開きます)。

[【公表版】AIガバナンス協会 AIガバナンスの「社会実装」のための提言 ～実務の最前線と今後求められる政策～](#)

※文責: AIガバナンス協会事務局 佐久間(事務局長), 堀田

【提言の概要】

AIGA 会員の AI ガバナンスに関する取組を総合して概観すると、各企業実務における重要課題として①ガバナンスプロセス・ルール作り、②組織体制の整備・人材育成、③AI の技術的な検証・保護の3点が挙げられます。

官民連携によるこれらの課題への対応に向け、AIGA でも民間の自主的な取組を進めていくこととするとともに、政策措置と連動するべき取組を整理し、以下に挙げる7つの政策パッケージとして示しています。

1. リスクベースアプローチの基準検討
2. 人材要件の標準づくり
3. リスク検討手法の検討

4. ガードレール等の技術の普及促進
5. AIリスクや攻撃手法に関する情報共有・対策の枠組みづくり
6. 認証枠組み等の、AIガバナンス構築へのインセンティブ設計の検討
7. AIサービス提供者・利用者も含めた、AI活用への積極支援

【提言の背景・成果】

2024年4月11日(木)に自民党デジタル社会推進本部第40回「AIの進化と実装に関するプロジェクトチーム」で議論され、翌12日(金)にデジタル社会推進本部にて了承された「AIホワイトペーパー ステージIIにおける新戦略 ―世界― AIフレンドリーな国へ」と並行して、民間事業者の知見・意見を政策検討の場に届けるべく、AIGA会員のAIガバナンス構築の実践・課題に基づいて提言を取りまとめました。

関連ページ: [平将明衆議院議員公式サイト「AI ホワイトペーパー ステージIIにおける新戦略 ―世界― AIフレンドリーな国へ」](#)

AIGAの政策提言内容は自民党の「AIホワイトペーパー」にも反映されており、人材要件の標準づくり、リスク検証手法の検討、認証枠組み等のAIガバナンス構築へのインセンティブ設計の検討といったAIGAが提起した論点に対応する施策が自民党からも政府に対して提言されています。また、事業者等の自発的・継続的な取組を日本のAIガバナンスの基本とするという基本的な考え方は、まさにAIGAの活動趣旨とも合致するものであり、AIGAをハブとした業界横断でのAIガバナンスの自主的な取組推進の重要性はますます高まるものと考えられます。

政策提言
2024年4月の提言内容は自民党「AIホワイトペーパー」にも反映



- AI事業者ガイドライン等に基づき事業者等が自発的・継続的にリスクを評価し、低減を図ることを日本のAIガバナンスの基本とする(第3章「適切なガバナンス」)
→AIGAの活動趣旨・自主取組の推進と沿った内容
- 社内外でAI活用に向けたスキルの習得に励む人材を支援するため、習得すべきスキル指針の周知・運用、教育コンテンツの充実・共有、スキルの可視化を様々な業種において進めること。(第2章「利活用の促進」)
→提言2: 人材要件の標準づくりに対応
- AIRISKに対して、リスクベースで事業者が環境変化に迅速に対応できるよう、(中略)...各組織におけるリスク対応の事例を、随時、蓄積・共有すること。(第2章「利活用の促進」)
→提言5: AIRISKや攻撃手法に関する情報共有・対策の枠組みづくりに対応
- AISIIに対して、チェックツールやレッドチームテストの実施手法等を含む、安全性評価に必要な調査、基準等/オーディット(第三者認証)の在り方の検討を提言(第3章「AIの安全性確保に向けた更なる取組」)
→提言3, 4, 6に対応
- 新たなAIアプリケーションの開発・利活用を推進するため、政府は、「中小企業向けIT導入補助金」の支援対象サービスへのAIの追加.....等に取り組むこと。(第2章「利活用の促進」)
→提言7: AIサービス提供者・利用者も含めた、AI活用への積極支援に対応

[ホワイトペーパーダウンロードページURL](#)

AIGAは今後とも、AIの開発・利用に携わる幅広いプレイヤーによる知見の共有や議論を通じて、イノベーションとガバナンスの適切なバランスを目指し、日本のAI活用を促進できるよう努めていきます。

■AIガバナンス協会について

AIガバナンス協会(AIGA)は、AIのビジネス活用の急拡大とその裏でのリスク認識の広がり、国内外の政策動向の急速な変化等を背景として、企業と社会が安心してAIを活用し、持続可能な成長を遂げるために、多様なプレイヤーがAIガバナンスのあり方を議論できる場を創るべく設立された任意団体です。

AIGAでは、AIのビジネス活用を進める企業を中心とするメンバーが産業横断で議論を行い、企業のあるべきAIガバナンスに関する共通理解の醸成や政策提言等の活動を実施します。

- ・理事 :
大柴行人 (Robust Intelligence 共同創業者)
瀬名波文野 (リクルートホールディングス 取締役 兼 常務執行役員 兼 COO)
生田目雅史 (東京海上ホールディングス 専務執行役員 CDO グループデジタル戦略総括)
羽深宏樹 (スマートガバナンス 代表取締役 CEO・京都大学特任教授・弁護士)
山本忠司 (三菱 UFJ フィナンシャル・グループ 執行役常務 デジタルサービス事業本部長 兼 グループ CDO)

・設立日 : 2023 年 10 月 26 日
(設立時のプレスリリース: <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000001.000131696.html>)

・サイト URL : <https://www.ai-governance.jp/>

・問い合わせ先 : admin@aigovernance.jp

・主な活動内容

- ①企業のあるべき AI ガバナンスに関する共通理解の醸成
- ②AI ガバナンス実現のための政策や制度枠組みの提言

・会員企業 (2024 年 3 月 26 日現在。和名五十音順)

正会員: 協会の活動趣旨に賛同し、AI モデル・サービスの開発・活用に携わる企業・団体

会員企業一覧

和名五十音順



※1社は会員名非公開